

2018年度「児童・少年の健全育成助成」申請書

1. 団体名 (正式名称)	(ふりがな) ( )		設立・発足年月		10-(a) 活動の名称 (裏面参照)	コードNo. (裏面参照)
			西暦	年 月		
2. 団体種類 (裏面参照)	コードNo.(裏面参照)		助成団体の歴史	なし・あり↓	活動の趣旨・目的・方法等を記入ください。	
			西暦	年		
3. 団体連絡先 住所	(ふりがな) 〒 -		電話 (勤務先・自宅) ( )		10-(b) 団体の活動と地域 とのかかわりの状況	
	[団体所在地・代表者自宅・その他( )]		FAX (勤務先・自宅) ( )			
4. 代表者	最寄駅 線 駅から 徒歩・バス・タクシー 分		メールアドレス @		10-(c) 2017年度の活動実績 (月別実施状況等)	
	(ふりがな) 氏名 印	<自宅> 電話 ( )		10-(d) 助成により期待される活動の広がり・効果		
(ふりがな) 住所	FAX ( )		<日中連絡先> 電話 ( )			
5. 当申請に関する担当者 日中連絡先	役職 氏名		FAX ( )		①物品購入総額(11の合計金額)	
			電話 (勤務先・自宅) ( )			
6. 団体の 構成員	メールアドレス @		FAX (勤務先・自宅) ( )		②助成申請額(30万円～60万円) ※万円単位(万円未満切上) (物品購入総額が60万円を超える場合、総額の6割以上となるよう設定ください。)	
	～小学生	中学生	高校生	小計		
7. 主な指導者(複数名)の氏名・職業 (例: 学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生)		8. 主な収入源と金額(過去2年分) (会費、活動資金の主なもの、補助金等)		11. 助成物品の名称 (裏面参照)		円
(上記4に記載の代表者)		会員から徴収する会費 円(1人当り/年)		助成金の具体的用途・内訳(物品名・単価・数量・金額を記入)		
(主な指導者)		2016年度		2017年度(見込)		万円
		会費				
		補助金 ( ) ( )				①物品購入総額(11の合計金額)
		助成金 ( ) ( )				
		合計				万円
9. 日常活動の場所・曜日						

(注) 1. 記入にあたっては裏面の記入例ならびにコードNo.を参照ください。  
 2. 申請書等に記載の情報については助成選考にのみ使用します。また、助成決定分については結果の公表、当財団作成資料に使用させていただきます。  
 3. 記載紙面の追加(別紙参照含む)や規格外の紙面の追加はご遠慮ください。

**記入上の注意事項 [記入例ならびにコード No.]**

◎黒インクまたは黒ボールペンにてご記入下さい。

2. 団体種類 主たる活動の内容・目的から下記区分にて記入ください。

団体の種類名	コード	団体の種類名	コード
伝統芸能保存伝承団体	2	自然体験・アドベンチャークラブ	11
ジュニアリーダー・ボランティア団体	3	科学・工芸・工作活動団体	12
スポーツ少年団・スポーツクラブ	4	自然観察団体	13
武道団体	5	人形劇・おはなし団体	15
ボーイスカウト・ガールスカウト	6	心身障がい児(者)関連団体	18
海洋・宇宙・交通等少年団	7	子育てサークル	22
みどりの少年団・自然保護団体	8	フリースクール	23
音楽・演劇団体	9	その他	20
子ども文庫活動団体	10		

3. 団体連絡先住所

- ・団体連絡先住所は、決定連絡文書や手続要領等の送付先となり、団体連絡先電話番号は、当財団からの連絡先・照会先となります。
- また助成後3年間にわたって当財団から交流紙「元気っこFORUM」を団体連絡先住所宛送付しますので、確実に連絡がとれる住所・電話番号を記入ください。
- ・団体連絡先住所が個人宅である場合は氏名を、勤務先である場合は勤務先名および氏名を記入ください。

6. 団体の構成員

- ・団体に所属し、実際に活動している児童・少年および指導者の内訳を記入ください。
- ・「小計」には「～小学生」～「高校生」の合計、「合計」には「小計」「指導者」「その他」の合計を記入ください。
- ・子育て支援活動・療育支援活動・フリースクール活動の場合は、「その他」欄の( )内に「保護者」「ボランティア」等記入の上、人数を記入ください。

7. 主な指導者(複数名)の氏名・職業 (例: 学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生)	8. 主な収入源と金額(過去2年分) (会費、活動資金の主なもの、補助金等)
(上記4に記載の代表者) <b>日生 花子</b> 〇〇市役所勤務	会員から徴収する会費 <b>6000円</b> (1人当り/年)
(主な指導者) <b>日生 太郎</b> 財団 一郎 財団 一子	2016年度 会費 <b>15万円</b> 補助金(〇〇市) <b>5万円</b> 助成金 なし 寄付 <b>1万円</b> 謝礼 <b>1万円</b>
	2017年度(見込) <b>18万円</b> なし (〇〇財団) <b>5万円</b> 寄付 <b>2万円</b> 謝礼 <b>1万円</b>
<b>記入例</b>	合計 <b>22万円</b> <b>26万円</b>

9. 日常活動の場所・曜日	〇〇公民館・・・毎月第2土曜日(定例会) △△山周辺等・・・毎月第1・4土曜日	<b>記入例</b>
---------------	--	------------

10-(a) 活動の名称

活動の名称	コード
野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成	1
野外活動を通してのジュニアリーダー育成	4
異年齢集団の交流	5
児童・少年の居場所づくり支援	6
障がいのある子どもたちの療育支援・ノーマライゼーション推進	7
郷土芸能の保存・伝承活動を通しての児童の健全育成	8
地域に根ざした文庫・読み聞かせ・人形劇を通しての児童の健全育成	9
芸術(音楽・演劇・美術等)を通しての児童の健全育成	10
創作太鼓・和太鼓演奏活動を通しての児童の健全育成	11
剣道・柔道等を通しての児童の健全育成	12
地域に根ざしたスポーツ活動を通しての児童の健全育成	13
子育てサークル・子育て支援ネットワーク	16
フリースクールの運営、不登校の子どもたちへの教育支援	17

10-(c) 2017年度の活動実績(月別実施状況等)	〇〇会への訪問交流活動(年3回)
定例会(おはなし会) 毎月1回 4月 お花見・町探索 5月・・・ 6月・・・	<b>記入例</b>

- 10-(a)～(d)では
- ・活動内容が当財団の助成趣旨にかなっているか
  - ・子どもの健全育成のための活動であるか
  - ・日常活動が伴い継続性があるか
  - ・活動の推進のために助成が効果的であるか
  - ・目的を達成するために適切であるか
- 等を判断します。

11. 助成物品の名称 下記例を参考にして、各種助成申請物品のうち、代表物品を記入ください。

キャンプ用テント・用具一式	長胴太鼓一式/伝統芸能用具・衣装一式
野球用具一式/カヌー・ライフジャケット一式	楽器一式/ミュージックベル
剣道防具一式	子ども用遊具一式/療育遊具一式
天体望遠鏡/双眼鏡・フィールドスコープ等一式	絵本・紙芝居/児童図書・書架一式
農作業・園芸用具一式	エプロンシアター/人形劇用具一式

\* 申請後の内容変更は認められませんので、見積書等を取り寄せ、助成希望物品・金額を十分検討のうえ申請ください。